

こんにちは。

株式会社アイランド・ブレインです。

このメールマガジンと弊社からの定期郵送物である

「新規開拓通信」が弊社HPからダウンロードできます。

下記URLとユーザー名・パスワードをご利用下さい。

<http://www.islandbrain.co.jp/html/download.html>

ユーザー名：shinkikaitaku

パスワード：1050

ピーター・ドラッガー氏が書いた本を読んでいると

よく歴史の話が出てきます。

その内容を読むと、現在の社会構造がどうしてこうなっているか

ということについて、何百年も前の出来事に端を発して

いることが多いことに驚きます。歴史の授業でしか

習ったことがない出来事が実は現在の社会構造と密接に

関係している。

百年、千年という単位で見ると

現在の社会というのがまた違った角度で見えてきます。

もちろん今日、明日が大切であることは間違いないと

思いますが、ふとしたときにそういった長いスパンで

物事を考えてみると、また違ったことが思いつくのかも

しれません。また、そのためにも歴史を学ぶということは

やはり重要なのだとあらためて感じました。

このメールは今まで弊社のメンバーと名刺交換をして

頂いた方や、お申し込みを頂いた方に送信をして

おりますが、配信停止をご希望される方はお手数ですが

下記アドレスまでご連絡下さい。

配信停止はこちらまで → mail@islandbrain.co.jp

■一般論を話すのではなく、相手に話す

今日は、あるソフトウェア開発企業の営業担当者のお話の続きです。

彼は、営業部長様とのロールプレイングを終えた後に、プレゼンが相手に響かないと覚えることはないかと聞かれました。

彼自身そのようなことを感じたことはなかったのですが、営業部長様がそう言う理由をたずねました。

「話す内容が一般論になってしまっていることが多いと思う。

例えば、今までの納品実績でこのような会社があって、コストが大幅に下がったということを紹介する時はいいんだけど、そこで留まってしまっていると思う。

相手と話しをする時も、その主語を

「ある会社は・・・」「ある会社が・・・」という言葉を使うことが多いと思うけど、「御社は・・・」「御社が・・・」という言葉を使わないと、相手はいつまでたっても自分の会社のことを言われていると感じないと思う。

あと、「今までにこういうことがあった」ということを言う時も多いけど、「だから御社ではこうなる」というようなことを合わせて言うことも大切だと思う。

もちろん不確定なことを約束することはいけないことだし、不確定なことは約束をしたくないと思うからこそそういう内容のプレゼンになるのだと思うけど、それであれば今までできることの範囲でしかサービス提供ができなくなって、技術の進歩が遅くなってしまう。

あとは意外とお客様は、一般論じゃなくて
もっと入り込んで提案して欲しいと思っているもんだよ。
過去の実績がいかに良くても、自信を持って入り込んで
きてくれないと、逆に不安になることのほうが多いと思う。

いずれにしても今までの経験値や実績が
あればこそのことなんだけどね。過去の実験値が多い人が
陥りやすいことだと思うよ。まあ、意識すれば多分すぐに
直るけどね。」

確かに言われてみればそういう傾向はあるかもしれない。
無意識のうちに、営業をしているといよりは
実績・事例の紹介に終始しているということになっている。

次の営業からは、より相手に踏み込んでいく言葉を意識して
使ってみようと思いました。

(次週は・・・

相手が断りやすい状況を作り出していないか？
否定的な言葉での質問をやめることによって成功した
ある建築材料販売会社の営業マンの新規開拓物語です。)

■□-----

BtoB の新規開拓のご相談は下記までご連絡下さい。

株式会社アイランド・ブレイン

MAIL info@islandbrain.co.jp

URL <http://www.islandbrain.co.jp>

TEL 052-459-1050

-----□■

このメールマガジンは、株式会社アイランド・ブレインの

メンバーと名刺交換をしていただいた方に配信をしています。
お心当たりのない方、配信停止をご希望される方は
お手数ですが下記メールアドレスまでご連絡下さい。
配信停止はこちらまで → mail@islandbrain.co.jp

【発行元 お問い合わせ先】

株式会社アイランド・ブレイン

〒453-0013 名古屋市中村区亀島一丁目1番1号

MAIL info@islandbrain.co.jp

URL <http://www.islandbrain.co.jp>

TEL 052-459-1050
